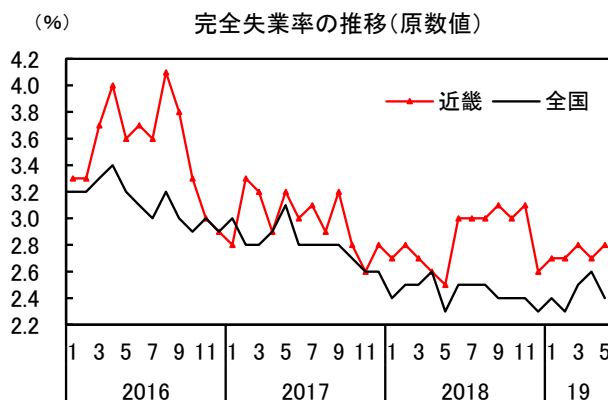
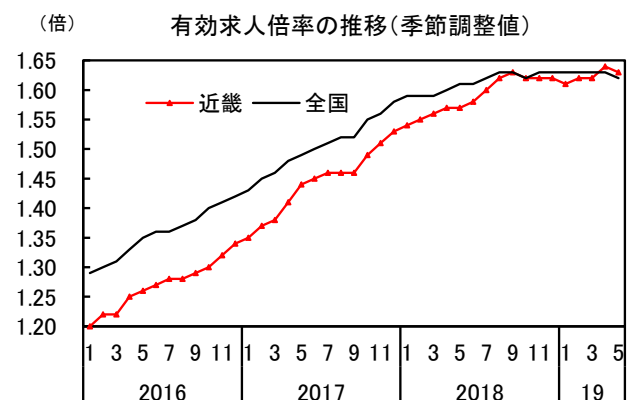


関西の景気ピックス【雇用関連（19年5月）】

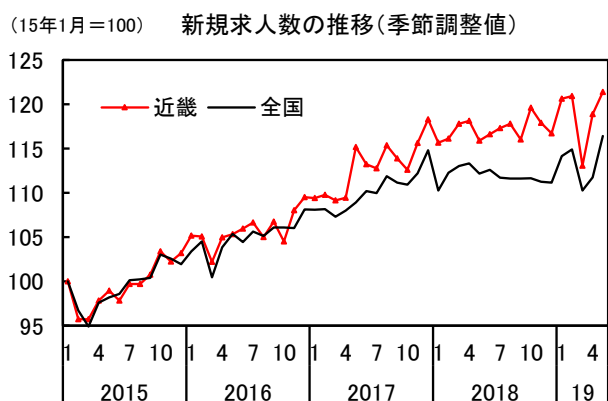
- 19年5月の労働力調査（総務省）によると、近畿の完全失業率は2.8%（原数値）と、前年比で0.3ポイントの上昇となった。前年を上回るのは3か月連続。変化の内訳は、就業者数が前年比で4万人増えた一方、失業者は3万人増えた。また、非労働力人口は8万人の減少となった。
- 一方、近畿の有効求人倍率（厚生労働省）は、19年5月は1.63倍（季節調整値）と前月比で0.01ポイント低下した。1.63倍という水準は、1974年4月以来（1.72倍）の極めて高いものである。
- 近畿の失業率は低い水準が続き、有効求人倍率も1.6倍台の高水準にあるなど、雇用情勢は概ね好調といえる。ただし、賃金の伸び率は低調な推移となっているほか、求人倍率の伸びが止まりつつあるなど、今後の推移については必ずしも予断が許されない。



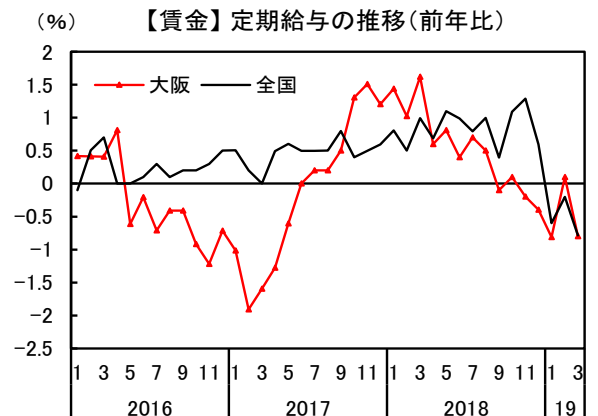
(出所)総務省「労働力調査」



(出所)厚生労働省「職業安定業務統計」



(出所)厚生労働省「職業安定業務統計」



(出所)厚生労働省「毎月勤労統計調査」